

白川静のことば

《18》



金子都美絵・画

象形は絵画ではない。具象というよりも、むしろ抽象に近いものであり、それゆえに象徴性をもつ。たとえば一本の小枝を手にもつものは尹いんである。箠むちを持って舞う狂女のように、その小枝は神が憑よりつくものであり、従って尹とは聖職者をいう。尹が日ひによって神託を求めるとき、それは君である。君とは女巫にして王たるものである。

文字の構造的理解には、それぞれの形体素の含むこの隠微な象徴的表現を、的確にとらえることが必要である。象徴画の図形構成のうち、その絵のなかのこゝとばをよみとることが必要であるように、象形文字はその字形の意味をよみとらなくてはならない。漢字は古代的な一種の象徴画にほかならないからである。

